

潮 か ぜ

まちづくりニュース 第 31 号

平成22年9月 浜町・芦崎・新川西地区住環境整備協議会発行

事務局 (村山泰夫、村上篤)

大分市都市計画部まちなみ整備課編集

097-536-0160

097-537-5637

協議会委員からのご挨拶！

"昭和の風を後世に"

"このまちに来るとどこことなく昭和の風が吹いているようで、懐かしくほっとした気分になる"と知人が私に話したことがあります。

住環境の整備事業によってまちなみも少しずつ変貌していますが、今でもこのまちには人情と温かい人々のふれあいが残っています。

先人達が築きあげてくれた、このような素晴らしい財産を後世に引き継ぎたいと考えている方も多くおられると思っています。

一方、着実にまちなみの整備が進む中、現実的な課題が見えてきています。

ひとつには道路で囲まれた出口のない街区が出来るのではと懸念されることです。

現状の多くは、通りを一步踏み入れると公道というものがなく、住民はお互いの敷地をごく当たり前のように通抜け生活が成り立っています。

当然、迷路のようではありますが、いずれかにつながっていて大通りに出て行けました。

しかし、都市計画道路や防災道路の整備に伴い、背戸の出入口がふさがれて、このままではその奥で生活する方の通行が制限されたり、なんといっても災害時に必要な避難路の確保すら難しくなることなどが想定されます。

また、建築基準法の制約等で、家の建替えが困難な方も相当数出てくるのではとも考えられます。

このような大きな問題を解決するには、地域と行政が一体となった取り組みが必要となってきます。

最善策を模索し、安心・安全なまちを未来につないでいけるよう皆さんで知恵を出し合い取り組まなければなりません。

自分も微力ではありますが、精一杯頑張ります。



協議会副会長
岩田 洋二

「地域の利益」を優先し、「個人の利益」を提供する

平成11年から開始された住宅事情改善・防災性向上のための住環境整備の取組も11年が経過し地区内の様相も変わりつつあります。

それに伴い、住民の関心も高まり時折、井戸端会議の話題にも上っているようです。

今般、当協議会では都市計画道路や防災道路で囲まれた内側の場所についても住環境を良くしていくための検討を始めました。

具体的には、現在の背戸を活用することによる避難路の確保、建替方法の検討等、都市計画並びに建築の専門家とも協議を重ね、二世帯、三世帯先を見据えた「まちづくりのルール」を策定したいと考えております。

私は「まちづくりのルール」とは、近隣相互扶助精神のうえに成り立つものではないかと思っています。

現在でも大分において色濃く残る隣保班制度、年輩の方にはあまり良い印象はないかもしれませんが、良かれ悪しかれこの制度において全国でも模範となる地域でした。

良い側面からだけみれば、大分は近隣相互扶助精神の先進地なのです。

住民の皆さんが助け合い、「地域の利益」を優先し、「個人の利益」を提供する地域なのです。

住民の、住民による、住民のための「まちづくりのルール」を策定し、意気込みを示すことにより、住環境整備事業の進展を行政に対し強力に働きかけるとともに、この地域の伝統である相互扶助精神に則り全国で模範となる「町」から「街」への転換、「ゆっくりでもいい、しかし、確かな街づくり」皆様のご協力をお願い致します。



協議会事務局
村上 篤

平成22年度の住環境整備事業の取り組み予定です！

平成22年度の住環境整備事業では、主に3つの取り組みを進めていく予定です。

- 取り組み1！ 道路用地買収等が終えた路線の道路工事
- 取り組み2！ 道路整備に向けた、境界確認・測量設計、建物調査、用地買収協議等
- 取り組み3！ 検討路線の整備の見通しを立てるための沿道地権者との懇談会等の開催

地域の皆様のご理解とご協力のもと
住環境整備事業を進めています。
今年度もよろしくお願いいたします。

【道路用地買収】

都市計画道路（南北間）の交差点部
路線D、N-1、N-2
※路線Aは買収完了済み

【道路工事】

都市計画道路（南北間）の一部
路線E-1、E-2
※5～6月に、沿道住民の方を対象に
工事に関わる説明会を行いました。



都市計画道路（南北間）の様子



路線E-1の様子

【懇談会等の開催】

路線B、F
※10月頃を予定しています。

【建物調査等】

都市計画道路（東西間）
※防災道路との接続部分周辺
（青丸の箇所 ○ ）は、
土地の鑑定評価及び道路用
地の買収協議を行います。

【建物調査】

路線H、I

【用地買収協議】

路線G-1、G-2
路線J、K-2、K-3

【その他】お知らせ
公園予定地を、市が草取りを行いました。



【境界確認・測量設計】

路線C

※8月20日に、境界確認作業
を行いました。

